



自身の経験を生かし  
人々の背中を押す  
活動に取り組む



仲間と受賞を喜ぶ木下さん

3月に東京で開催されたキャンパスベンチャーグランプリ全国大会で、宮崎大学工学部4年生（当時）の木下大輔さんのグループが、テクノロジー部門大賞の文部科学大臣賞を受賞しました。

キャンパスベンチャーグランプリは、大学や大学院などの学生に、新技術などを軸に創造的で革新的な事業プランを競い合う場を提供し、日本の次代を担う若者の育成と新産業の創造を目的として毎年開催されているビジネスコンテストです。

# 人の風景

smiling faces of miyakonojo

木下さんのグループは、宮崎大学産学・地域連携センターの支援を受け「障がい者情報プラットフォームTOBE」を発表。木下さんはチームリーダーとしてメンバーをまとめ、全国大会で見事、栄誉を勝ち取りました。「全国制覇を目標に、アイデアを出し合った。目標を達成できてうれしかった」と話します。

「障がい者情報プラットフォームTOBE」は、障がい者が航空券などを予約する際に求められる障がいの情報を事前に登録し、手続きの手間を省くシステム。このシステムを考案するきっかけとなったのが、自身の留学と東京旅行での体験でした。

100名車椅子陸上で日本2位の実力を誇る木下さんは、宮崎大学国際連携センターの支援を受け、技術が高めるためオーストラリアに5カ月間留学しました。そこで、障がいを強みに変える人々の姿を目の当たりにし、それまで持っていた「障がいを逃げるにせよ」という自分の考えを確信に変え、障がい者対象のビジネスの起業を決意しました。その後東京旅行で、空港や駅での必要なサポート内容を毎回聞かれた経験から「手続きを簡略化できないか」と思い付き、仲間とシステムを構築



キャンパスベンチャーグランプリ  
全国大会  
文部科学大臣賞受賞

きした  
**木下 大輔さん**

(宮崎市在住／高崎町縄瀬出身)

しました。

今後は、起業家とアスリートの両立を目指す木下さん。「東京パラリンピック出場を目指し、挑戦していきたい。その姿が多くの人々の背中を押せればうれしい。また起業家としても、障がいがあるから、地方にいるからできないというイメージを崩していきたい」と笑顔で話しました。